

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677900070
法人名	有限会社 共生
事業所名	グループホーム共生
所在地	鹿児島県肝属郡南大隅町佐多郡16-4 (電話) 0994-28-4884
自己評価作成日	平成31年2月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個々の生活環境や家族関係・家族の希望・本人の望む生活ができるように言葉かけやかいわをもち自立した生活を援助できるように心がけている。
 全身状態の観察を怠らず、状態に応じてバイタルチェックを行い、医師と連携して異常の早期発見・早期対応に努めている。
 各種申請や行政のサービスを受けることができるように家族と連携しながら申請の援助を行っている。
 季節ごとの自然な食材の提供・社長が漁で捕った新鮮な魚介の提供・地域の方々の支援による新鮮な野菜の提供を行っている。
 収入に応じて、利用料金の減額も考慮できます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム前の道路から下に行くと、海が見え四季折々の季節を感じさせてくれるところに、ホームは位置している。地域の環境や地域との交流が近年難しくなった事で、理念を職員全体で話し合い現状に即し作成した、職員は理念を意識しながらケアの実践に努めている。地域密着型サービス事業所として、地域住民への周知に努め地域との日常的な交流が図られる関係が有り、散歩時の会話・近所の方の来訪・ボランティアや地域住民から野菜等の差入れがある。職員の高齢化もあるが、地域に浸透している為利用者とは会話や昔話に弾んだり、地域の郷土料理も作れる等利用者に喜ばれている。研修会場が遠方になるが、出来るだけ参加させたり、資格取得への援助を協力する等職員育成にも力を入れ支援している。管理者や職員は日頃から気軽に意見が言い合える信頼と協力関係を構築しており、日頃から業務に対する助言・指導を積極的に行い、職員の意欲の向上及び働きやすい職場環境の整備に努めている。ホームは利用者の希望があれば行きたい場所へドライブに行ったり、地域の料理を食べたりと利用者の望む生活が出来るように支援につなげている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホールに掲げ毎月の職員会議での唱和と、実施の奨励を促している	理念は地域の環境や、地域との交流が近年難しくなってきたので、職員全体で話し合い見直し作成した。ホール内に掲示し目に付く事で意識し、ケアの実践に取り組んでいる。理念とは別にホームの方針が有り、職員は理念と方針を共有しケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ドライブ等に出掛け近隣の方々との交流や会話に心がけている。病院受診の際も、利用者家族様や本人の意向で以前からのかかりつけ医を受診して近隣の方々と交流して頂いている。また、年に数回は近隣地域の草払い等を行い交流をしている。	地域の情報の把握に努め、ゴミステーションの清掃への参加や認知症講和へ参加している。地域の行事の祭りでは、ホームに神輿隊が来ている。地域からの野菜の差入れを頂いたり、散歩やドライブ時には挨拶や会話する等、日常的な交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議等の集まり時に校区公民館長・地域代表・家族代表・地域交番代表者の方々に近況報告を兼ね認知症の説明等を行政とともに実施している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域代表・家族代表・交番代表・行政の方々に出席していただき入所者様の近況報告や行事の説明等を行い意見交換や指導を仰いでいる	定例化された会議は2ヶ月毎に開催している。近況報告・行事報告・事故報告他の報告を行い意見交換し、情報を共有している。地域からの参加がある事で地域情報が活発に出されている。職員へも会議の内容は周知され、業務改善やサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月の入所者名簿の提出・近況報告等行い連携をとっている	町担当者とは、介護保険の認定や各種制度の手続き、ケアや運営に関する相談等を行い、助言・指導を受けるなど日頃から協力関係を築いている。生活保護受給者が入所しているので担当者とは連絡連携を密に図っている等、協力関係は築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対する理解を職員に周知しできる限り行わないように努めているが、やむを得ず必要であれば家族と話し合い実地することもある。しかし実地に至った場合は廃止に向けての取り組みを行っている	身体拘束や高齢者虐待についての研修を、職員会議や外部研修に参加し、意見交換等で理解を深め拘束のないケアの実践に取り組んでいる。昼間は施錠を行わず職員の見守りや対話、寄り添いに努めている。不適切な言葉遣いには、日頃から注意し合い、意識するよう心掛けている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し虐待についての理解を深めホームの勉強会等で話し合い、些細な事でも虐待につながることを周知して、虐待防止について理解を深めることが出来るように心がけている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	家族や社会福祉協議会・地域振興局等と連携しながら本人の権利を擁護できるよう心掛けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に契約書・重要事項説明書等の説明と疑問点の傾聴を行い納得していただけるように心がけている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時や毎月行っている近況報告で意見・苦情等があれば受け入れることが出来るように対応し、行政等の連絡先を掲示している	利用者からは日頃の会話や表情・しぐさ等から、意見要望の把握に努め、家族からは来訪時や毎月の状況報告の便りや、最近では携帯電話に利用者の写真を添付して報告し、意見要望も聞いている。出された意見等は、職員で協議しサービスの改善に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や勉強会・主任会議等で職員との意見交換や認知を行い反映できるようにしている	日頃から職員とのコミュニケーションに努め、業務の中や会議・申し送り時等で意見や要望を把握し、個人の面談も受入れ改善に取り組んでいる。職員からの希望があれば資格取得や自動車免許取得等にも協力支援するなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務実績や勤勉性等を考慮し賞与や功労手当等で調整したり、資格取得時の勤務調整や無利子での立て替えを払い等を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>地域性も考慮して運転免許取得・資格取得等の推奨や資質向上のための研修への参加を呼びかけ協力している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会へ参加し意見交換で他施設の取り組みを理解し取り入れたり、多職種との交流で見える部分を活かして取り入れる等している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に訪問し家族や本人の意見・希望を聞きなるべく実施できるように努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に訪問し家族や本人の意見・希望を聞き、家族の生活も尊重できるように話し合うことが出来るようにしている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族の希望があれば対応し、できるだけ実施し説明している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様の能力に応じたコミュニケーションの方法を選択し、安心して生活できる環境作りに努めている。また、職員にも自分の家族だと思って介護できるように周知している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携を深めることが出来るように利用者・家族の希望や要望に応えながら家族の支援も負担にならないように調整し話し合っている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームの指定病院のみでなく以前からのかかりつけ医院へ受診し、その地域の方々と交流して頂いたり、墓参りや自宅への外出の援助も行っている	病院受診時に以前からの友人や知人と会い交流したり、利用者の中には馴染みの美容師が来訪支援してもらっている方もいる。携帯電話をかけ取次ぎをしたり、ラインの活用で家族に写真を送ったり、近況を伝えたりと関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様のコミュニケーション能力や同郷の方・気の合う方等で座席の調整を行うなど楽しく過ごせる環境作りに努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移床や入院等により契約が終了しても連絡事項があれば対応し、相談に応じている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活歴や既往歴・趣味・家族との関係等を理解し、現状と突合して本人・家族の望む生活を援助できるようにするが、本人の意向を尊重し支援できるよう努めている	職員は担当制となっている。日常の会話や寄り添い見守りで、利用者の思いや意向の把握に努め、本人主体のケアになるよう取り組んでいる。趣味への取り組みや、笑顔ある生活が過ごせるよう職員で検討し支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・ケアマネ・生活相談員等から情報収集している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の支援の中でADLの把握に努め職員会議等を通し情報を共有している 毎日の申し送りや業務日誌を読むことにより把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスや職員会議で情報を共有し、対応や援助について議論することで、本人に合った援助を提供できるよう努めている	利用者や家族の思いや主治医の意見を基に、分かりやすい介護計画を作成し、モニタリングも3ヶ月毎に適切に実施している。ケアの状況や情報を職員は共有し改善に努めている。定期的な見直しや、状態の変化時には見直しをする等、現状に即した介護計画を作成し支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ここに作成してある介護日誌や日計表・水分出納記録等を共有して現状を把握・共有して問題の解決に努め快適に過ごしていただけるよう支援している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の状況を把握して入院時の面会・洗濯物・おむつの補充等ニーズに対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	季節によって山菜を採り下ごしらえを行ったり、近くの港に出掛け漁の様子をみたり、小魚を釣ったりして楽しんでいる		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	特に希望がなければ町立の診療所の受診支援を行い、希望があれば希望の病院の受診支援を行う	利用者や家族が希望する医療機関での受診を支援しているが、遠方の利用者はホームの協力医療機関が主治医となっている。定期受診は月1回、他科受診には職員が同行している。受診結果は毎月変化がなくても「状態報告書」で報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の情報を同意のもと共有し医師や看護師に報告を行い適切な看護が受けられるようにしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>医療機関の相談員や受け持ちの看護師と密に連絡を取り合い入院中の状態や必要物品の補充など把握している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>基本的には看取りは行っていない。病院と連携し緊急搬送を行っている、重度化した場合は医師の判断のもと家族の希望も踏まえホームでの生活の援助を行っている</p>	<p>入所時に重度化や終末期に向けた方針は説明し同意を得ている。重度化した時点で主治医や家族、関係者で話し合いを行い、可能な限り希望に添った支援に取り組んでいる。救急時の研修は職員会議などで行っている。現在看取りは行わずホームで出来る、可能な限りの支援体制となっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会や消防訓練を行い緊急時の連絡網に従い緊急対応を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防の協力を貰い訓練の実施や機器の設置を行い訓練している。近隣の協力は皆が高齢者のため飛び火などがおきないように早期発見・早期対応ができるように周知している</p>	<p>年1回は消防署立ち合いで、1回は自主訓練で避難訓練を実施している。町が施設間で支援し合う体制を構築し、ホームには市民救命士が5名いる。地域とは防災無線でつながり、協力体制を築いている。防犯対策としては、毎日派出署員が立ち寄っている。自家発電機・スプリンクラーの設置や備蓄の確保もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴を把握して地域の馴染みのある言葉かけで敬意と思いやりに心がけ対応するように心がけている	利用者の尊厳やプライバシーの確保については、職員会議や研修でケアの振り返りや意見交換を行い適切なケアの実践に努めている。言葉かけは地域の方言を使う事が、利用者の安心と思いやりにつながっている。排泄や入浴介助など日々のケアには、誇りやプライバシーの確保に配慮した声掛け対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	介護を支持するのではなく本人の希望や要望を見出すことが出来るよう言葉かけを行い、傾聴し把握に努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活習慣を把握することでその人らしい生活を支援できるよう時間を決めずに支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人が選択できる場合は選んでいただき、できない場合は家族から事前に情報をいただき選択の援助を行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みを把握しできるだけ提供できるように心がけているが、病状や医師の指示をふまえて提供している 季節の山菜など一緒に下ごしらえを行える物はどのように食べたいか意見を聞き提供している	力量のある利用者には野菜の皮むきなどの下ごしらえやテーブル拭き等と一緒にしている。行事食や花見、年2回の遠足時には弁当を持参している。刺身は釣りたての新鮮な魚を提供し利用者からは喜ばれているなど、食事が楽しみなものになるよう支援している。受診時に外食する時もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	の状態等を把握して提供している 代替の食材も考慮してできる限りの栄養のバランスを考えている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行いながら口腔の観察も行っている。また、週2回義歯の消毒を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間毎の声掛け誘導介助を行い、排泄のリズムを確立できるように心がけ自立支援に向けている	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、表情やしぐさで声掛けや移動介助により、こまめにトイレ誘導を行い排泄の失敗を減らせることにつなげるなど、個々に応じた排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立の配慮・運動・腹部マッサージ等を行い自然排便を促しているが、困難な場合は医師と連携して指示薬の服用介助を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の希望に合わせて介助している。希望できない方は定期的に介助している 状況に応じては昼夜問わず介助することもある	毎日入浴を希望される利用者もいるが、基本週3～4回を健康状態に配慮しながら足浴や清拭も取り入れて支援している。入浴をためらう利用者には、時間や順番を変えたり職員の交替や声掛けの工夫で、無理強いをしないように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の希望に合わせて臥床して頂いたり、ソファで休んで頂いたりしている。深夜の徘徊や不眠が身体的に異常をきたす場合は医師と連携して快眠を提供できるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示に従い服薬介助している。内服の変更時は情報を共有し確実に介助している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の出来ることを尊重して洗濯物たたみ、食材の準備・食器洗い等一緒に会話しながら行い楽しんで頂いている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	自宅訪問・墓参り・遠方の病院受診時の食堂などでの外食・花見・ドライブ遠足・みかん狩り等に出掛けている	利用者の外出の意向を、日常の会話から把握し、天候や健康状態に配慮しながら、園庭や周辺の散歩・ドライブに行ったり、希望で魚釣りに出掛けたりと行きたい所へ出かけている。外出の年間計画もあり、遠足・花見・ドライブへと出来るだけ外出できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知の状態に応じて家族と協議の上、小遣い金を預かり外出時に買い物をしたりしている。希望の品があれば購入してきて金銭の支払いの出来る方はして頂いている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>現在は手紙を書くことが出来る方はいらっしゃいませんが</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>立地を生かし季節の花々を飾ったり、各種行事の飾り物や行事を行っている。また、認知の程度や性格に合わせてテーブルセッティングも考慮している</p>	<p>リビングは採光や室温等が居心地よく配慮し調節されている。季節の花や行事の飾り物で季節を感じられるよう工夫されている。対面式の台所からは、調理の音や匂いが感じられ五感を刺激し、より家庭的な居心地である。利用者はソファやテーブル等好みの場所で居心地よく過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブルセッティング・景色を眺める事の出来る空間に移動する・テレビの好きな人に対しての配慮を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	出来る限り本人の希望を取り入れるように心がけている。位牌・写真を飾ったり、冷蔵庫・テレビの設置等	居心地よく過ごせるよう入所前に使い慣れた馴染みの家具やテレビを持ち込まれたり、位牌・写真・カレンダーを飾ったりと自由に過ごす工夫や、その人らしい雰囲気の居室となっている。利用者の意向を確認しながら、整理整頓を支援している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	ホーム内の手すり・スロープの設置、許可があれば名前の表示も行い自立を促している。また、ベッドの高さの調節・転落防止の工夫を行っている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない